

# 自治会連合会会報

第11号

## 自治会・町会・地区・区は地域の輪

自治会・町会・地区・区では、地震・風水害等の災害に備えての自主防災活動や、青少年の健全育成、交通安全、環境美化活動、住民同士の交流を深めるための活動等を行っています。

自治会・町会・地区・区に加入して交流を深め、地域の輪を作りましょう。



庄和総合支所越しに眺望する富士山

### ● 主な内容 ●

自治会・町会・地区・区の特徴及び活動状況の紹介、役員視察研修報告  
粕壁地区の紹介、市議会議員へのアンケート調査報告

### 平成18年度活動報告

定例総会..... 平成18年 5月18日  
 自治会活動の手引き発行..... 5月18日  
 春のクリーンデー..... 6月4日  
 正副会長会議..... 4月26日他 8回  
 理事会..... 4月26日他 6回  
 役員研修会..... 11月16・17日  
 各地区体育祭の実施  
 粕壁地区体育祭.....10月8日  
 内牧地区体育祭.....10月8日  
 武里地区体育祭.....10月8日  
 武里団地地区体育祭.....10月8日

豊春地区体育祭..... 10月1日  
 幸松地区体育祭..... 10月1日  
 豊野地区体育祭..... 10月8日  
 庄和地区体育祭..... 10月8日

市議会議員にアンケート調査実施  
研修会..... 19年2月24日

### 講演

【演題】「江戸幕府に学ぶ、安全・安心のまちづくり」

【講師】 講談師 一龍斎 貞花 氏

【協力事業】 日赤社員・社協会員の増強への協力  
赤い羽根、歳末たすけあい等募金運動への協力

ごみの5分別収集への協力  
自主防災活動への協力

【その他】 各種審議会等への委員選出

各種行政機関との連絡調整 等

# 我が街の活動紹介

● 順不同 ●



新年会のようす

備後須賀第5自治会は、会員数二百五十五世帯。ほとんどの会員は、生まれ育ちが、この地域ではありません。それが故に、いろいろな自治会活動を通して、「この地域を自分たちの家族のふる里にしよう」「地域のふれあいの輪を広め、自分たちの地域を安全・安心な地域にしよう」と活動しています。私共の自治会活動は、「できる人が、できる時に、できる事をしよう」「自治会行事に参加すると、顔見知りになり、あいさつしたり、気安く会話もしたりして友達が増えていく事になり、こ



会長 横山 敏美

備後須賀第5自治会

で生活しているとの実感が湧いてきます」と会員の皆さんに呼びかけています。その結果が、平成十五年七月より始めた防犯パトロール、現在三百六十五回継続中です。平成十七年十二月より備後小学校の登校日、毎日行っている児童下校時のパトロールなどです。また、自治会行事の実行には、総勢四十五名の役員・班長さんが企画し実行に当たります。十八年度は、新年会・ウォーキング・高齢社会を築む会・納涼大会・運動会・餅つき大会を企画実行しました。また、別に有志による、そつめん流し・ちゃんちゃん焼き・さつまいも掘り・芋煮会など子どもたちにも楽しい行事がありました。行事には多くの方が参加します。この地域も高齢化が進みますまず自治会活動が必要になってきます。「地域のふれあい・輪」が広がっていけば良いなと思います。



会長 堀尾 光作

内牧二区自治会連合

私たちの地区は県道内牧、武



防災訓練

里線が通り、市の北西部に位置しています。地区内には内牧公園、共栄大学、特別養護老人ホーム彩光苑、春日部工ミナース等の施設があり、また、果実園を中心にいろいろな観光農園が盛んな緑豊かな地域です。現在十五の自治会で四百七十世帯余りの会員となっています。役員は区長、区長代理、会計監事各一名と自治会長十三名で構成され、民生委員、地域防犯推進委員、クリーン推進委員、体育振興委員とあります。年間の行事としては、総会、春のクリーンデー、体育祭、文化祭、野球、ソフトボール、バレーボール等があります。皆様が積極的に参加され、体力の向上とコミュニケーションを図っております。赤い羽根日本赤十字歳末助け合い運動にも、皆様

方のご協力を頂き、目標の九十五%と大変高い実績を上げています。私たちの善意が社会福祉事業に貢献できれば良いと思っています。また、皆様の防災意識を高めるために防災訓練を行っています。今回は、彩光苑にて二区の皆様と合同で防災本部の指導を頂き、参加者百五十名で実施いたしました。これを機に彩光苑と二区自治会で災害援助協定を結びました。お互いが助け合って安心できる環境を目指していきたいと思えます。四季を通して大きな施設や観光農園を利用し多くの方々を訪れる地域ですので、今後も地区の皆様との協力を頂き、安心・安全なまちづくりと「和」を大切にして住みやすい地域にしたいと思っています。



会長 橋中 修

藤ヶ丘文化村自治会

藤ヶ丘文化村自治会は豊野地区にあり、東は庄内古川、西は古利根川に囲まれた中間地点の場所にあります。現在は千三十戸の住宅街です。平成十七年三



住宅用火災警報器説明会

月にゆりの木橋の完成 五月には路線バスの開通があり高齢化地域には市街に出かける最良の足となっております。自治会の組織は総務部・会計部・厚生部・防災部・文化部・広報部・婦人部の七部で、仕事内容で各部の担当が決定しています。各部の協力で行う大きな行事は納涼祭、地区体育祭、敬老会、防災訓練ですが活動内容は前回お知らせしていますので、今回はモデル事業を紹介します。

その一は、農林水産省の実施した一般家庭より出る廃食油の回収事業で、期間は平成十一年十二月から二か年でしたが、現在も継続しています。

その二は、消防庁より依頼された(社)全国消防機器協会が実施している全国四十七都道府県対象の市町村で二十か所指定し、

新生一区は、東武野田線の南側、南桜井駅から江戸川寄りに徒歩十分ほどに位置して、庄和地区内でも隣接の新生二区、三区、四区、五区(合計約二百五十世帯)と、もっとも古くからの住宅街で、四班、七十五世帯、ダストボックス五基の規模です。

以前は先の五区合同で、夏の二日間区内の公園で納涼祭を



新生一区

長 澤 保  
区 平

埼玉県では今だゼロの事業に春日部市消防本部予防課より「平成十八年度秋季全国火災予防運動にあわせた住宅用火災警報器の配布(無償)モデル事業」への打診があり、二か月間の準備で応募して見事に十月三十日に決定通知があつたのです。

自分たちの生命・財産は自分たちで守るをモットーに、住みよい街、住んで良かった街、住んでみたい街、安全、安心の街を目指し努めてまいりますので皆様方のご支援ご指導の程、お願い申し上げます。



資源回収と公園の除草

実施しておりますが、現在は新生地区自主防災会や、毎月一回の資源ゴミ回収の共同実施、公園・地区集会所の維持・管理、グラウンドゴルフ大会などのレクリエーションなどを行っております。阪神大震災の教訓と、住宅が密集していることもあり比較的早い時期に立ち上げた自主防災会は、毎月資源、ゴミ回収時に各区の持ち回りで自主防災役員がポンプや発電機など機具の始動点検を行い、年に一回、消防署のご協力を頂き、全体で大規模な防災訓練を実施しています。

新生一区単独としては、秋の庄和地区体育祭への参加を続けておりますが、年々選手の加齢で競技よりも応援が主体の現状です。今、区としての大きな関

内出町は、粕壁地区の北に位置し、ヨ一カ堂の北側から春日部中学校にかけ、東武線の両側に約三百二十世帯で構成されております。役員は、二十八名の組長と地区から選出される十八名の理事で構成され、理事の互選で会長、副会長、会計その他の担当を分担し、いろいろな行事を進めております。また、協力団体として、寿会、婦人会、育成会があります。約二十年前に発足した小槌会は町名の内出に打出をかけた名前で、現在約



内出町会

長 原 謹 二 郎  
会 三

心事は、現在庄和地区で実施している可燃ゴミの回収ダストボックスの存続です。ステーション方式が主流になっている昨今ですが、環境美化には最良の方法だと思えます。月に一度の資源ゴミ回収も、リサイクルの目として定着し、限りある資源のリサイクルと環境維持についての関心と意識は高く、どちらもぜひ存続していただきたいと願っております。



ちびっ子相撲大会

九十名、町内の有志で構成されております。七月の夏祭り、十月の体育祭、夜間パトロール等町内はもとより、育成会で行うちびっ子相撲大会、ソフトボール等にも活躍され、町内のコミユニケーションの向上、諸行事の進行の中心となり、大きな力になっております。

年間行事は他の町内とほぼ同じですが、防災訓練は春日町、陣屋、旭町と合同で行っております。また、夏祭りには御輿と山車で参加しております。この御輿と山車は、当町内の棟梁の藤原氏の手によって造られたものであります。また、去年までは八月にちびっ子相撲大会、婦人会の盆踊り大会を行ってきま

したが、今年は場所の確保が難しく、開催が危ぶまれております。またひとつ伝統の灯が消えようとしています。当地区も昔に比べ、瓦、たんすの職人が減り、住宅が増えて静かな住宅地に変わりつつあります。

これからも、安全で住みよい、街づくりに努めたいと存じます。

新川地区



地区長 根岸保次郎

私たちの地区を紹介させていただきます。この度の合併で新川は市の中央に位置する事になりました。中川上流の庄内古川沿いに南北に広がる地形で中心部を国道十六号が横断しています。地区全体が調整区域で地区面積の大半は緑豊かな農耕地です。世帯数は現在七十八戸で六つの組に分かれています。地区役員は地区長・副地区長・会計・監査・組長と組理事で構成され、必要に応じて随時役員会を開き円滑な事業運営に努めています。

年間行事としては四月の総会・十月の地区体育祭・一月の新年会等があります。また五



不動堂

月・八月・十一月の年三回行っているちびっ子広場と集会所周辺の清掃作業は、環境美化とともに住民の連帯感を高め、コミュニケーションをはかる意味で全世帯参加のもとに実施しています。その他、昨年から小学生児童の下校時の安全を見守るためパトロール隊を編成して活動を開始したところです。地区独自の伝統行事として、春、秋の香取神社の例大祭と、二百年からの歴史をもつ不動尊の祭典があります。この祭典は、毎年二月二十八日に行われるもので、不動堂での護摩修行は新川の「不動さま」として昔から近郷近在に広く知られているところです。前日の準備から始まるこの行事は今も昔のままにこの地区の伝統文化として受け継がれ

ています。

今後も伝統を大切にし、地域の特性を生かしながら近代化に向けて前進していきたいと思えます。ご支援をよろしくお願いいたします。



下増地区



地区長 白倉善雄

私たちの住む地区は市の西南に位置し、さいたま市岩槻区に隣接した緑の多い地域です。昔は純農村地帯でありましたが、昭和五十年代に入り、市道が整備され徐々に開発が進み、地区の東側には多くの方々が楽しめる憩いの場として、春日部湯元温泉ができ、ハローワーク、介護施設の「ちとせ」、武里病院等の施設ができた事により、環境も変わりつつあります。また、春日部駅よりバス路線も開設され、通勤、買物に行くのも大変便利になりました。



虫追い

さて、当地区の運営は、地区長他、六名の役員、班長、クリーン推進員を含め、五つの推進員をもって構成し、役員会で検討し総会での承認を得て、行っています。行事活動としては、新年会、総会、市のクリーンデイを含め年三回の清掃、防災訓練、豊春地区体育祭の参加、他に年間を通しての防犯活動を行っています。その他に、文化的行事として、春祈祷、百万遍、虫追い等があります。この中でも、虫追いは、市の広報・新聞等で紹介された所でもあります。これは、昔からの行事として、竹棒に稲わらを巻き、松明としてホーイ・ホーイと掛け声とともに地域を練り歩き、害虫駆除と五穀豊穡を祈願するものです。このような文化的な行事を後世に伝えていきたいと思いま

すが、時代と共に消えつつあり残念に思います。

地区として今後、住民が安心して暮らす事ができるように努力していきたいと思えます。皆様方のご支援とご協力をお願い致します。

一ノ割本田第一地区



地区長 藤 繁 近

私たちの地区を紹介いたします。一ノ割駅を挟んで旧四号国道から呑竜幼稚園の近くまでの地区ですが、一ノ割は五地区で一ノ割町会を組織し、合同活動を展開しております。

年間活動として、春のクリーンデーは全住民が参加し町の美化運動に協力し、恒例となりました夏祭りでは子ども会から高齢者まで参加していただき、二日間開催しております。

当地区では「防災対策」を重視しており、防災訓練では関係機関の協力を得まして初期消火訓練等を実施いたしました。さらに他地区に先駆け、地域内の特別養護老人ホーム・フラワーヒルとの災害時相互援助協定を



合同自主防災訓練

締結し、広域的な地震や風水害の発生時には相互に援助していく予定です。また、自主防災組織の見直し、防災冊子・防災避難所マップの全戸配布を行うとともに、世帯員名簿を各班長に保管していただき、避難所での各班のリーダーとして各家庭よりの避難状況を把握していただくように組織いたしました。さらに「地域の安全は地域で守る」を合い言葉に地域の子どもたちを地域で守るために防犯パトロールも実施しております。

今後の地区の課題は、自治会未加入者問題の解決といわゆる「二〇〇七年問題」となります。とりわけ、団塊世代の大量退職に伴い、日本経済を支えた皆さんが地域に帰って参りますので、それぞれのノウハウを發揮

六軒町は、一ノ割駅から藤の牛島駅からも約一・五キロ程に位置しております。一昨年度のゆりの木橋が開通し、バスが運行しましたので、中心街に出るのに便利になり、最適な住宅地です。老若が一様に自治活動に参加して、とても活発な自治会だと自負しております。現在の会員数は七百九十二世帯となり、九ブロックに区分、四十七班の班長、九人のブロック長、幹事若干名（会長、副会長、会計も含む）・総務部・厚生部・防犯防災部・広報部の担当を置き、班長以上は各部に所属し、目的達成のための事業を推進しております。平成十一年には自主防災組織も発足、いざという時の心構えを養っています。また平成十七年度には、簡易保険

**六軒地区自治会**



副会長  
**宮部 きく子**

していただける場を提供し、併せて世代間の橋渡し役として期待いたしており、地域の活性化に協働していきたいと考えております。



夏祭り

の保険料団体払込制度の導入について慎重に審議、総会の決議を経て発足、加入者の方々に感謝されております。

通年の行事としては、五月総会、秋の収穫祭の準備としてサツマイモの苗植え、七月には日帰り親睦研修会、夏と秋は公園の草取りを大勢の参加で汗を流します。八月第三土曜日は夏祭りです。午前中は地元の守神である大杉神社の御輿を五穀豊穡・家内安全を祈りながら「辻斬り」と言う伝統行事を行います。午後からは子供会中心のゲームや、ブロック別の模擬店など自治会総出のにぎわいです。秋には収穫祭と年間を通じてさまざまな行事の中で地区住民の親睦と相互理解を深めることが

**米島第一区**



区長  
**深井 照夫**

自治会の目的と思い、今後も役員一同協力していきたいと考えております。

米島第一区は、旧米島地区が四分割し、平成四年に誕生しました。川辺小学校裏手より香取神社に至る小高い台地に三百七十五世帯が生活しています。南桜井駅より徒歩十分と交通は便利で、閑静な住宅街ですが、県道沿いは、ダンブ車の走行が激しく騒音に悩ましいことです。

自治会は区長、副区長、会計庶務二名、ブロック長三名で役員会を構成し、さまざまな課題に対応しています。下部組織として各ブロックごとに班長制を設け、広報等の配布など情報の伝達や資源回収を行っています。お互い協力し合い、会は円滑に運営されていますが、ただ資源回収ではさまざまな形で難題が出ているのが現実です。

旧庄和町時代では、応分の補助金があり、町有バスを利用した「バス旅行」や「新年カラオ



親睦カラオケ大会

ケ大会」を盛大に実施し、会員相互のコミュニケーションの拡大を図ってきました。思い出に残るよき時代でした。

現在は厳しい財政難の時代。乏しい中でも「新年会」は続行しています。年々参加者は増加の傾向にあり、喜ばしいことです。また、年末には、役員、班長合同で防犯パトロールを実施し、意識の高揚に努めています。

自治会活動の活性化を図るためには、会員相互が信頼し合える温かい人間関係を築くことが基盤と言えましょう。そのためには、何をすべきか、残る課題は多いです。

役員一同、襟を正し、精進する所存です。

牛島4番地区自治会



会長 清水 肇

私たちの自治会は、市の東部にあり、東武野田線、藤の牛島駅の両側にまたがっています。昭和四十年代は、四番地区の外れから駅舎が見えた長閑な田園地帯でありました。

その後、人口の増加が続き現在は八百世帯、二千百人と幸松地区で二番目の大きな自治会になっています。また、駅・郵便局・小学校・児童館に近く便利で閑静な住宅地でもあります。自治会は防災会と一体で運営され、行事は平成十一年に市からコミュニティ推進事業費として助成金の交付があり、この交付金で住民が一堂に集まり楽し



みまもり隊

める行事として、お祭り広場を開催したところ継続して実施希望の声があり、これを機会に自治会会則を制定して行事予算を計上し、次の行事の定着化を進めてきました。

春と秋のクリーンデイ、可搬式消防ポンプによる防災訓練、防犯パトロール、健康寄席ふれあいフェスティバル、餅つき大会、みまもり隊、いきいきサロンの設立と多岐にわたって活動しています。この活動を支えているのは組長さんをはじめクリン推進員、防犯推進員、体育振興員、小・中学校地区員、交通安全協会員、民生児童委員とみまもり隊、いきいきサロンの会そして地域住民の皆様方の協力であります。今後自治会の目的である住民の親睦と健全なる発展を図り、共に住民の共同の福祉と安全の増進に努めていく所存です。

道口蛭田地区自治会



会長 藤和 男

私たちの住む自治会は、東武野田線豊春駅から西の方に位置



道口蛭田集会所（建築中）

する所で世帯数は、二百六十世帯前後です。会長・副会長・総務・会計・監事各一名と、一班から十一までの各班長で組織されています。

当地区は四十数年の歴史があり、その間に、地区長が三回変わりました。私が今回会長に任命されたのは平成十七年四月で、四代目の自治会長です。主眼は行事と致しまして、四月に総会、十月には体育祭、十一月には防災訓練、毎月第二土曜日には、ふれあいサロン会など、その他役員会、班長会議など必要に応じて随時いろいろな行事・会合を行っているところで、当自治会としては、集会所がないのが一番の悩みでした。まず自治会の総務と相談し、それから、各役員・班長を招集し相談、今年、ぜひ集会所を建てたいという事で一致しました。こ

の工事につきましては、自治会の総務をはじめ役員、各会員の皆様にはご協力を賜りました事、心から感謝を申し上げます。

近い内に集会所が完成致しますが、地域の皆様には一人でも多く利用していただきたいと思っております。一人暮らしのお年寄りや身体の不自由な方など集会所に集まっていたいただき、地域の皆様とのコミュニケーションを行っていただきたいと思います。

これからも自治会の行事につきまして皆様のご指導ご協力のほどお願い申し上げます。

桜台二区



会長 藤和 和仁

桜台二区自治会は、昭和四十六年に、東武野田線「南桜井」駅の北部に開発された一戸建て住宅の住民で結成された自治会です。

その後、近隣の十数軒の住宅も含まれ、現在約二百五十程の世帯で構成されています。駅前通りの個人商店をのぞいて、そのほとんどの世帯がサラリーマ



夏まつり

ンで、東京方面に勤めている人が多いようです。自治会設立当初の三十五年前に働きざかりだった青年も、今では六十歳を超え、息子、娘の代に移り、自治会構成も二世帯住宅が多くなりました。その分、高齢者が増えました。自治会内の高齢者クラブ「二世帯会」のメンバーも近年とみに増え、百数十名に至っており、自治会内の一大勢力です。自治会主催の催し事としては、春の「三世代交流スポーツ大会」、夏の「夏まつり」、秋の「運動会」と「グラウンドゴルフ大会」、冬の「ひなまつり大会」と盛りだくさんで、役員も大変です。

役員構成は、全世帯を十一の班に分け、それぞれの班から班長、副班長の二名が順番制で選ばれた自治会会長の指揮のも

とに、全活動のお世話をしています。近年、防災、防犯活動にも力を入れ、毎年百五十名ほど参加する「自主防災総合訓練」の他に、自治会内の「防犯パトロール」「学童安全パトロール」を行っております。

今後とも、市、近隣の自治会等とも協力し合いながら、自治会活動を進めていきたいと思っております。



大畑自治会

会長 原 武士  
会 長 海 老

当地区は市の南方にあり、旧国道四号から東武伊勢崎線、武里団地を挟み、西方向に広範囲にあります。世帯数千五十戸程、百八班、十一ブロックに編成され、自治会長・会長代理・副会長・会計・各ブロック理事で運営されております。

大畑には、三百七十年余りの歴史を持つ県の無形文化財に指定されている「やったり踊り」があります。毎年七月第三土曜日の夜子若（子供）は、ハッピ姿で百人あまり、若衆三十人程が揃いの浴衣に赤い鉢巻と赤い



やったり踊り

鼻緒の草履といった出で立ちで西光寺から香取神社へと笛・太鼓のお囃子に合わせて道路を練り込み踊りで進みます。神社境内では、小若と若衆で交互に「囃子踊り」「手踊り」を「やったり・やったり・やったりなあい」と踊り手の天を突くような力強い掛け声でダイナミックに踊って奉納します。祭礼は、若衆を中心に住民が側面から協力して境内の飾り付けなどを行い、「やったり踊り」を通して地域住民が一体となつて燃え上がる、まさに「やったり」なのです。

また、婦人部、老人会、子供会などの会があり、香取神社初詣には甘酒の提供、桜の花見会、潮干狩り、公園の草取り、クリンデイの掃除、地区体育祭の練習、餅つき大会、防災訓練などを行い、一年程前からは通学路の安全のため、大勢のボランティアの方のご協力を得て、安

全で温かい街大畑を目指しております。

今後とも、皆様方のご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



神間区

区 長 島 駿 一郎  
区 長 矢 島

神間区は約八十七世帯あり、西側には中用水路、東側には郷田用水が通り、昔から稲作を中心とした兼業農家が多く緑に恵まれた区です。

数十年前から数人の方がピニールハウスにて、茄子、胡瓜の促成栽培を始め、今では技術も向上し、蜂による花粉の交配で生産した品物は、東京の市場などに出荷しています。最近道の駅庄和ができ、各農家で栽培された新鮮で安全な農産物を出品販売しています。同地区には、北公民館、富多小学校、学校給食センターなどの公共施設があり、センターの東側には公園があつて除草作業は同地区の人たちで行っています。

区の中心を流れる排水路には桜の木が植えられ、遊歩道もあ



三世代交流夏祭り

り花の咲くころには散策する人たちでにぎわいます。小学校の西側には富多神社があり、除夜の鐘が鳴るころになると初詣の人たちが大勢参拝に来ます。境内では豚汁、甘酒等が無料で配られ、榎地区の人たちのお囃子が披露され、参拝に訪れた方が目を楽しませてくれます。当地区には六組合あり集会所も二か所あります。第一集会所では毎年八月十六日に三世代交流夏祭り大会が行われます。八月最後の土・日には区全体の一泊二日の親睦旅行を行っています。資源回収、美化運動等は全世帯一名ずつ参加し、資源回収は一か所の集会所で当番制で行い、役員は農家組合長六名、評議委員六名、区長、区長代理、会計、合計十五名のメンバーで、区費の集金、運営等を行っています。これからも各位のご指導、ご協力をお願い致します。

役員視察研修報告

去る平成18年11月16日・17日、自治会による防犯活動と自主防災活動の参考とするため、先進地である神奈川県南足柄市と静岡県伊東市を視察いたしました。南足柄市では、郷土のヒーローである「足柄山の金太郎」をマスコットに防犯活動に取り組んでいる様子を伺いました。また、伊東市ではやがて起こるであろう東海地震に備える自主防災活動状況を伺うことができ、これからの自治会活動に大いに参考とさせていただきます。

今回の研修により、地域の安全や活性化を進める自主的地道な活動の重要性や、災害時に皆で協力し助け合うことの大切さを再認識したところです。個人の力には限りがあります。今後、地域全員で協力し助け合う自治会活動を通して、安心・安全なまちづくりを積極的に進めてまいりたいと考えております。



# 粕壁地区の紹介

粕壁地区は、江戸時代日光街道の宿場町（粕壁宿）として栄え、現在は、春日部駅を東西にはさんで商業の中心地として発展してきた地域です。町並みは、百貨店、銀行、寺社や桐箱、桐タンス、羽子板等の地場産業の町工場や商店がある中に住宅が混在して、最近ではマンション建設が多く見られる地域であります。

駅の東口周辺は、都市景観形成重点地区として、昔の面影をしのばせる街路等の整備がされ、公園・道路・公園橋にはアートアメニティ構想による彫刻像が設置されています。

7月には、「春日部夏まつり」が行われ、粕壁地区の各町内会はもとより八丁目・小淵・内牧・庄和等の二十数基の御輿が繰り出され、市内・市外から多くの人が見物に訪れて夏の風物詩となっています。

西口周辺は、区画整理された町並みに銀行や証券会社等のビルが建ち並び、メイン通りのふじ通りでは、毎年4月最終日曜日に市民が中心となって作り上げる「藤まつり」が行われ、大勢の見物人でにぎわいます。その他には、初詣で多くの参拝者が訪れる市の総鎮守である春日部八幡神社や総合福祉センター（あしすと春日部）、中央公民館等の公共施設があります。

この地域で、24の町内会・自治会により粕壁地区自治会連合会を組織しています。

防犯パトロールなど各町内会等の活動を一層強化し、会員数の拡大に努めながら、安全で安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指して今後も活動してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

粕壁地区自治会連合会 会長 上野 照 信

## 《粕壁地区自治会連合会》(24自治会等)

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| 上 町 町 内 会       | 武 井 利 男   |
| 仲 町 町 内 会       | 種 村 孝 一   |
| 本 町 地 区 会       | 栗 原 幸 一   |
| 三 枚 橋 町 内 会     | 金 子 武     |
| 一 宮 町 町 会       | 岡 安 光 男   |
| 東 町 町 町 会       | 関 根 良 夫   |
| 川 久 保 自 治 会     | 石 川 清     |
| 大 砂 町 町 内 会     | 山 崎 哲 男   |
| 元 新 宿 町 町 内 会   | 関 根 慶 剛   |
| 内 谷 町 町 町 会     | 齋 藤 正 一   |
| 大 池 町 町 会       | 寛 田 吉 一   |
| 浜 川 戸 町 町 内 会   | 梅 田 国 造   |
| 宮 本 町 町 町 会     | 齊 藤 繁     |
| 八 木 崎 町 町 会     | 高 橋 昌 男   |
| 内 出 町 町 会       | 三 原 謹 二 郎 |
| 春 日 町 町 町 内 会   | 齊 藤 富 男   |
| 陣 屋 町 町 町 内 会   | 尾 堤 賢 次   |
| 旭 町 町 町 町 会     | 三 宅 慎 太 郎 |
| 幸 町 町 町 町 内 会   | 小 島 秀 夫 治 |
| 富 士 見 町 町 町 会   | 山 崎 祐 治   |
| 元 町 町 町 町 町 会   | 上 野 照 信   |
| 中 央 1 丁 目 町 町 会 | 村 田 勤     |
| 中 央 二 丁 目 町 町 会 | 梅 田 稔     |
| 立 沼 町 町 町 会     | 並 木 素 生   |

(平成19年2月1日現在)

## アンケート調査報告

当連合会では、昨今の社会経済情勢や市の財政状況等を考慮し、「徹底した事業の見直しや歳出削減に努め、住みよいまちづくりを」という、市民の声を市政に反映するよう活動してまいりました。

市議会に対しましても、現在の議員定数36人は、合併協議会や当時の首長間の中で決定したものであり、必ずしも民意を反映しているとは考えられないという観点から、過去2回議員定数削減の要望書を提出してきたところです。要望届かず、昨年4月は定数36人のまま選挙となり、これまでの経過を踏まえ、直接議員の皆様のご意見を伺うべく、昨年10月アンケート調査を実施させていただきました。

調査の回答では、個々のご意見を伺えず、右記のとおり回答をいただきました。

当連合会では、今回のご回答を踏まえ、今後も機会あるごとに市民皆様の声を、連合会独自の事業として展開してまいりたいと考えております。



平成18年11月27日

春日部市自治会連合会  
会 長 時田 美野吉 様

- 春日部市議会 新政の会 幹事長 河 井 美 久
- 同 春和会 幹事長 小久保 博 史
- 同 公明党 幹事長 栗 原 信 司
- 同 共産党 団 長 秋 山 文 和
- 同 フォーラム春日部 代 表 渡 田 智 秀
- 同 社会民主党 代 表 蛭 間 靖 造

日頃から市議会の運営にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。  
さて、今般、貴連合会からアンケート調査についての依頼文を頂戴いただきましたが、我々市議会議員の共通した考え方として、全議員が所属する各会派を代表して次のとおり回答申し上げますので、ご理解くださるようお願いいたします。

- 議員定数について  
議員定数（36人）については、春日部市・庄和町合併協議会の協議によって定められた定数です。これは、合併後、市域が広くなり人口が増える中で、議員定数を一気に削減することにより、地域住民の声が行政に反映されにくくなるおそれがあることに配慮した結果の定数となっているものと理解しております。  
地域住民の声を平等に汲み上げることは、市議会として第一義であり、そのための時代状況に即した適切な議員定数を設定することは、課題の一つであると理解しております。
- 議員報酬について  
現在の議員報酬については、合併協定書に基づき、合併前の旧首長同士が協議を行ない定めた報酬額を基本として、市長が、市長の諮問機関である春日部市特別職報酬等審議会の答申を得て決定したものです。そのため、市議会としては些かも関与したものではありませんことをご理解願います。  
今後においても特別職報酬等審議会の協議、決定に影響を与えかねない言動は、厳に慎むべきことと認識をいたしております。

### 編集委員氏名

|       |           |
|-------|-----------|
| 会 長   | 時 田 美野 吉  |
| 副 会 長 | 上 野 照 信   |
| 副 会 長 | 板 倉 肇 夫   |
| 副 会 長 | 保 谷 哲 三   |
| 副 会 長 | 久 清 水 三 忠 |
| 副 会 長 | 石 島 三 忠   |
| 副 会 長 | 関 根 三 忠   |

発行日

平成19年4月1日

発行者

春日部市自治会連合会

事務局

春日部市役所市民参加推進課内

☎048(736)1111

編集後記

今年暖冬により、春の訪れが早く感じられます。季節が移る中、皆様にはお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。  
さて、最近家庭内での凄惨な事件が報道されるなど、モラルの低下やコミュニケーション不足が見受けられ、家庭や地域内のコミュニケーションは大事にしたいものです。明るいまちづくりには不可欠の防犯・防災・環境・福祉活動などは、個人の力では限りがあり、地域の力が大きな役割を果たしております。新たに春日部市民となられた方々をはじめ、皆様には地域コミュニケーションの輪を広げるために自治会へのご加入と協力をよろしくお願い申し上げます。